

郡山中央工業団地会を対象に「流域治水に関する事業説明会」を実施

開催目的・概要

- 流域治水の取組へのさらなる理解・親しみを持っていただくため、郡山中央工業団地会を対象に、国・県による事業説明会を実施。
- 上流遊水地群整備地を見学した後に、三城目集落センターで国から「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」での河道掘削や上流遊水地群整備の状況、阿武隈川流域の流域治水の取り組みについて説明、県からは逢瀬川・谷田川の特定都市河川指定について説明し、遊水地の役割や下流の水位低減効果等について理解を深めた。

日時・対象

- 日時：令和7年1月16日（木）13：40～15：00（現地見学）、15：10～16：15（事業説明）
- 場所：上流遊水地群整備地（鏡石・矢吹・玉川）、三城目集落センター
- 参加人数：郡山中央工業団地会24名、矢吹町職員3名、郡山市職員3名

実施状況

- 郡山中央工業団地会副会長 挨拶要旨
 - ・この広大な農地で農業を生業として営んでこられた農家の皆様、先祖伝来の農地を、自然災害から下流企業や地域住民の財産と生命を守るために協力いただいていることに対して感謝申し上げます。
 - ・この遊水地が整備されていることについて阿武隈川流域の県民の方々にはまだまだ認知されていないというのが実態。この事業が県内外に広く認知されることにより、農家の方々の苦渋の決断であったことが理解され、遊水地事業の早期完成に繋がると考える。
- 参加者の主なコメント・質問
 - ・河道掘削後の再堆積が懸念されるが、この事業以外でも河道掘削・樹木伐採を行っているのか。
 - ・この事業によって浸水リスクが軽減されるのならば、ハザードマップの浸水深も更新されるのか。
 - ・この事業は令和10年度までとのことだが、事業完了までに令和元年台風と同等規模の台風が発生した場合はどうなるのか。
 - ・下流域住民の遊水地認知度が低いと感じるため理解醸成を図ってほしい。



▲現地見学の様子



▲事業説明の様子